



名前は「ハトシ」です。 エビをはさんだトースト、 という意味です。

明治時代に清国からやってきました。中国語にすると「蝦多士」。

蝦（ハー）はエビ、多士（トーシー）は焼いた食パン。

その名のとおり、エビのすり身を食パンにはさみ、それを油であげたものです。

昔は長崎名物の卓袱（しっぽく）料理の一品でしたが、その美味しさ、

そして手軽につまめる楽しさから、独立した食べものとして愛されるようになりました。

いまでは、料理店や食品店の店先に並んでいたり、お祭りなどのイベントでは屋台が出ることも。

片手に持って食べ歩く若者たちを見ると、まさにご当地ファストフード。

おむすびやサンドイッチなど、ワンハンドフードのバリエーションはどんどん多彩になっています。

ブームのひと足前に、現地のハトシはいかがでしょうか。

大人気のローカルフード

ハトシ

長崎で、会いましょう。

